

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1	会議名	飛騨神岡高等学校 学校運営協議会（第2回）	
2	開催日時	令和5年9月8日（金） 14：10～15：40	
3	開催場所	飛騨神岡高等学校ゼミナール室	
4	参加者	会長	川上 佳洋 NPO 法人宇宙まるごと創生塾 飛騨アカデミー代表
		副会長	植田 要助 地域代表
		委員	山田ゆかり 総合型地域スポーツクラブ 一般社団法人 飛騨シューレ（ご欠席）
			田中 智枝 田中料理教室
			田口由加子 NPO 法人神岡・まちづくりネットワーク レールマウンテンバイク事務局
			帰家 圭吾 有限会社 かんや代表
			中 義人 育友会会長
			島田 紀子 東洋建材資材
	オブザーバー	都竹 淳也 飛騨市長	
		布俣 正也 岐阜県議会議員	
	学校側	近藤 和彦 校長	
		那須 貴 教頭	
		森下 学 事務長	
		松本 正人 教務主任	
		一ノ瀬伸郎 生徒指導主事（欠席）代理 川上 登	
		楯 幸司 進路指導主事	
		中村 英樹 教務部特別活動担当	

5 会議の概要（協議事項）

(1) 学校評価アンケートの結果及び考察

意見1：保護者の「わからない」と回答する割合が多いのはなぜか。

⇒ 保護者により見方も違うので検証が必要だと考える。質問の文言が分かり難いというご指摘もいただいている。「わからない」と回答された内容については、本校のホームページやFacebookを見ていただければ載っているので、そちらを見ていただけるように努力する。

(2) 地域連携による活力ある学校づくり推進事業進捗状況

- ・例年実施している事業のほか、新たに本校を拠点に地域と学ぶ取組み「ひだかみアカデミア『がくしゃへGO!』」を行う。

(3) 各分掌より

意見1：本年度、少ない人数で成績がよかった部活動（吹奏楽）について、好成績の要因は何か。

⇒ 2・3年生の経験者が頑張りに加え1年生も入って人数が増えたこと。「このメンバーで頑張るんだ」という思いをもって取組んでくれた。指導者も根気よ

く熱意をもって指導していただいた。コツコツと地道に取り組んだ結果である。

意見2：子どもの数が減少し、部活動の運営が大変だとのことであるが、それに伴う問題点はあるか。

⇒ 人数が少ない部は、他校と合同チームで活動している。本年度で廃部になる部活もある。合同チームは練習や試合で移動が増えるなどの問題がある。部活の減少は学校の特色化にマイナスが大きい。

意見3：保護者アンケート「学校はいじめや差別を許さず厳しく対応している」の回答で、「あまりあてはまらない」が（4%）あるがよいか。

⇒ 心のアンケートやいじめのアンケートも行っている。少しでも不安がある生徒には、随時対応し、校内での情報共有にも努めている。

意見4：登校できない生徒（不登校）や欠席の多い生徒はいるか。

⇒ いる。中学校時に不登校を経験している者も多い。いじめ等との関係性も調べながら対応している。家庭との連絡は担任、教育相談を中心に行っている。

意見5：教務資料の中に地域中学生の人数と入学者数の予測人数の表がある。生徒数の減少は明らかで、例えば、「35人の入学生でどのような学校をつくるのか」を考えていかななくてはならない。系列の在り方も、このままでよいのか、変更するのか等考えなくてはならない。

意見6：少人数で部活動をしようと思うと、地域との連携がないと在り得ない。中高合同の部活動や地域の大人が入る活動も考えられる。すでに中学校は動いている。柔軟な考え方が必要である。

意見7：四年制大学が入りやすくなり地元企業への就職が少なくなることは自然なこと。今は、新卒で入社し最後まで働くという時代ではない。進路指導は、4～5年後に地元企業にUターンしてくれる人への活動という側面もある。

意見8：「ひだかみアカデミア」は素晴らしい取り組み。地域と一緒に学んで学ぶ。チャレンジしている。飛騨地区の小中学校にPRしてもらい、本校の良さをアピールしてもらいたい。

意見9：連携型中高一貫教育は県内で4地域。それぞれに課題はある。連携中学校からの入学者が50%を切っている。さらなるPRをしていく。本校は残っていく学校だと思っている。

(4) その他

・ひだかみアカデミア「がくしゃへGO！」（10月28日（土）開催）について

意見10：本校飛騨神サポーターと学校運営協議会が合流して本校を拠点として地域の学びを支援していくことになった。今までこのような取り組みはなかったが、様々なアイデアを出してもらい、ここまですり着いた。本校の素晴らしいところを伸ばしながら、本校に目を向けてもらえるよう期待している。

意見11：飛騨市観光課も同じような事業を開催している。運営や広報などアドバイスをいただくと、学校側の負担も楽になるのではないかと。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、本校の授業を参観していただいた後、学校評価アンケートの結果と地域連携による活力ある学校づくり推進事業進捗状況、各分掌の取り組みについて説明した。今回は特に本年度新たに始める地域との交流事業「ひだかみアカデミア『がくしゃへGO!』」について時間を割いた。委員の皆様には、これまでの本校の教育活動や新たな試みについては概ね賛同を得られたとともに本校の現状や今後の課題について、活発に協議いただき、貴重な意見を聞くことができた。今後の学校運営に反映させていきたい。

生徒数の減少に伴い様々な制限が出てくる中、本校は地域に必要な高校として、地域からの協力支援を得ながら、これまでの教育活動をより深化させていかななくてはならない。